

明けましておめでとうございます

2017

少々遅まきながら、新年のご挨拶を申し上げます。

さて昨年印象深かった出来事と言え、2月から8月まで東京学芸大学客員教授としてドイツから教育学の教授をお招きしたことです。日々の会話、焼鳥屋からサッカースタジアム、学内外のセミナー、講演会そして温泉宿と多くの時間を共有する機会をいただきました。特に面白かったのは長年続けている小さな研究会「フォーラム・ドイツの教育」にお出でいただいた帰り道、「本当はこういうのが大事なんだよな」とコメントいただいたことです。日本の「研究会文化」の意義を反射的に再確認できました。

旧年中は活字になった書きものはほとんどないという為体ですが、いくつかの学会関係委員会や科研の研究会に参加する機会を得ました。お名前だけは知っていた同世代の方とリアルに知り合い関心を交流することがこの歳になって増えるのは楽しいことです。ドイツ・ニーダーザクセン州の教員研修機能の大学への移管をテーマにした自分の科研は一段落、教員研修を学校教育の系を越えて成人自己学習の系で考えるという課題を「発見」しました。勤務校の実務でも現職教員研修の組織化に関わることになりました。体重は増え髪は白味を増し心身あちこち不調もありますが、ともあれ去年より少しよい一年とするべく努めたいと思います。どうぞ本年もよろしく願いいたします。

前原健二（東京学芸大学） maehara@u-gakugei.ac.jp
【電話番号は割愛】